

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 4 区分
【発行日】 令和 6 年 2 月 19 日 (2024.2.19)

【公開番号】 特開 2022-125760 (P2022-125760A)
【公開日】 令和 4 年 8 月 29 日 (2022.8.29)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-158
【出願番号】 特願 2021-23532 (P2021-23532)
【国際特許分類】
 B 4 1 J 2/01 (2006.01)
【F I】
 B 4 1 J 2/01 301

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 2 月 8 日 (2024.2.8)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

記録材に液体を吐出することで記録材に画像を記録する記録部と、
前記記録部が収容される筐体の底部を形成するケースと、
前記筐体の側壁を形成するカバーであって、装置の運搬時に把持される手掛かり部を、
前記ケースに隣接する位置に有するカバーと、
を備える記録装置において、

前記ケースは、前記筐体の内部に向かって前記記録装置の底面と交差する方向に延びる境界壁面を有し、

前記カバーは、前記手掛かり部の近傍に、前記ケースの前記境界壁面に当接する当接部を有し、

30

前記側壁が形成される方向と交差する方向において、前記当接部と前記境界壁面とが並ぶように配置され、前記当接部と前記境界壁面とが当接することで前記筐体の内部と外部を区画することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記ケースは、前記カバーに係止するための係止部を有し、

前記カバーは、前記当接部が前記境界壁面に当接する方向とは逆方向に、前記係止部に当接することで、前記カバーが前記ケースに係止された状態を形成する被係止部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

40

前記手掛かり部は、前記側壁の下端に設けられ、

前記係止部と前記被係止部は、前記側壁の下端辺の幅方向において前記手掛かり部を挟む配置で、少なくとも対で設けられることを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記手掛かり部は、前記側壁の下端から、前記側壁の延びる方向と交差する方向に前記境界壁面に向かって延び、装置の運搬時にユーザが接触する手掛かり面を有しており、

前記当接部は、前記手掛かり部において前記手掛かり面の延びる方向の先端に設けられていることを特徴とする請求項 1～3 のいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記ケースは、前記境界壁面よりも前記装置の内部側に、前記手掛かり部の前記手掛か

50

り面とは反対側の面と対向する領域に、前記筐体の内部側に向かって前記側壁の延びる方向と交差する方向に延びる内部側壁面を有することを特徴とする請求項 4 に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記ケースは、前記境界壁面よりも前記装置の内部側に、溝部を有し、
前記カバーは、前記手掛かり部の近傍に、前記溝部と係合可能なフック部を有し、
前記溝部は、前記境界壁面に前記当接部が突き当たる方向と同じ方向に、前記フック部と対向する面を有することを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記ケースは、前記手掛かり部に対向する領域に、溝部を有し、
前記カバーは、前記手掛かり部の近傍に、前記溝部と係合可能なフック部を有し、
前記溝部は、前記側壁の外壁面が面する方向とは逆方向に面した内向面を有し、
前記当接部としての前記フック部と、前記境界壁面としての前記内向面と、が前記側壁の延びる方向と直交する方向に突き当たることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載の記録装置。

10

【請求項 8】

前記溝部と前記フック部は、前記外壁面の下端辺に沿って、前記手掛かり部の幅の全域にわたって延びていることを特徴とする請求項 7 に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記手掛かり部は、前記側壁の外壁面の下端辺における幅方向の略中央において、前記外壁面から部分的に凹んだ凹形状を形成することを特徴とする請求項 1～8 のいずれか一項に記載の記録装置。

20

【請求項 10】

前記筐体に收容される、報知音を発するスピーカをさらに備え、
前記カバーが、前記スピーカに対向する位置にスピーカ孔を有する記録装置において、
前記カバーは、前記スピーカと前記スピーカ孔との対向領域において、前記スピーカ孔における前記筐体の内部側の開口の正面の領域と、前記開口周りの下方領域を除いた領域と、を覆う遮蔽部を有することを特徴とする請求項 1～9 のいずれか一項に記載の記録装置。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の課題を解決するために、本発明の記録装置は、
記録材に液体を吐出することで記録材に画像を記録する記録部と、
前記記録部が收容される筐体の底部を形成するケースと、
前記筐体の側壁を形成するカバーであって、装置の運搬時に把持される手掛かり部を、
前記ケースに隣接する位置に有するカバーと、
を備える記録装置において、

40

前記ケースは、前記筐体の内部に向かって前記記録装置の底面と交差する方向に延びる境界壁面を有し、

前記カバーは、前記手掛かり部の近傍に、前記ケースの前記境界壁面に当接する当接部を有し、

前記側壁が形成される方向と交差する方向において、前記当接部と前記境界壁面とが並ぶように配置され、前記当接部と前記境界壁面とが当接することで前記筐体の内部と外部を区画することを特徴とする。

50